



志田 利先生

## 追悼文

身延山大学名誉教授志田 利先生は、去る平成十九年二月二十七日、静岡市内のご自宅で逝去されました。

先生は、昭和九年八月一日、山形県でお生まれになられ、同二十九年三月、日本社会事業短期大学を卒業され、同三十四年四月、日本社会事業大学福祉学部社会事業学科に編入され、同三十六年四月、同学科を卒業されました。

日本社会事業短期大学ご卒業と同時に、山形県社会福祉協議会にご勤務になられ、以後、日本社会事業大学進学の時期をのぞき、平成五年三月、静岡県民政部児童課長を最後にご退職されるまでの間、静岡県庁民政部を中心に静岡県の社会福祉事業の推進に挺身されてこられました。静岡県庁をご退職後も、特別養護老人ホーム聖ヨゼフの園施設長として社会福祉事業の第一線に立たれてこられました。この間、常葉学園短期大学保育学科、浜松医科大学医学部看護学科、静岡大学人文学部などにおいて非常勤講師として学生の教育にも当たってこられました。

さて、先生とわが身延山大学との関係は、平成七年四月、本学が、従来の三年制短期大学を仏教学部仏教学科の四年制大学に改組転換した際、本学の建学の理念である仏教精神の具現化という観点から、社会福祉関連の科目をも開設することとなり、その折、先生に非常勤講師として仏教実践研究のご担当をお願いして以来のことでありました。その後、平成十一年四月には、専任教授にご就任いただき、爾来、平成十七年三月、定年によりご退職されるまでの間、社会福祉原論をはじめとする多くの社会福祉関係の科目をご担当いただき、また、平成十四年四月には図書館長となられ、本学発展のために尽力いただきました。専任教授ご退職後も、お亡くなりになられる平成十九年二月まで講師

として学生の教育指導に当たっていただきました。とりわけ、平成十七年四月に従来の仏教学科を仏教学科と仏教福祉学科の二学科制に改め、福祉教育を前面に出すこととなり、先生のご負担が増加し、それが先生のご体調を崩す原因になったのではと思うと学部の方として先生はもとより奥様である洋子先生はじめご家族の皆様にも申し訳ないという気持ちで一杯であります。

先生が、そのご専門である社会福祉学の分野において、豊かな実務経験に裏付けられた幾多のすぐれた業績をあげられ、わが国社会福祉学の発展のためにはかりしれない寄与をされたことは周知のことです。これらの業績ならびにご活動の一斑は、先生のご退職を記念してわが身延山大学仏教学会が編集した機関紙『身延論叢』第十号（平成十七年・身延山大学仏教学会）に掲載されている先生の業績一覧をご覧くださいただければお分かりいただけると思います。

先生は、研究者としての厳しさと人間味豊かな温情とをそなえられ、まれに見る人格者であり、われわれ教職員一同のふかく敬仰するところでありました。先生は、昨年の秋以来体調を崩されましたが、今一度お元気になられることをわれわれ一同お待ち申し上げておりました。しかるに、この一同の願いもむなしく、今は幽冥境を異にすることとなり、哀惜の情おくあたわざるものがあります。ここに謹んで先生の御冥福をお祈り申し上げます。

平成十九年十一月一日

身延山大学仏教学部長 中山光勝